

# 1人1台端末の効果的な活用に向けた取組

武生第二中学校坂口分校

## 1 はじめに

本校は全校生徒 11 名の小規模校である。坂口地区は人口減少や高齢化が進んでおり、将来を担う子ども達や学校に対する期待が大きい。そこで、本校では「ふるさとを愛し、心豊かに生き生きと活動できる生徒の育成」を研究主題に掲げ、郷土に親しみをもち、郷土を大切に作る生徒の育成を目指している。

坂口分校では、総合的な学習の時間を中心として教科横断的に、「坂口地区を元気に」をスローガンとして「坂口活性化プロジェクト」に取り組み、本年度で6年目を迎えた。本稿では、生徒が主体的に発案してタブレット端末を活用したプロジェクト2つを取り上げる。

## 2 取組の概要と成果

### (1) 「坂口まつり～世代を超えて笑おう～」の企画・運営での活用

本年度も地区の夏祭りが縮小され、中学生が地域の大人になったつもりで企画・運営する「第3回坂口まつり」を坂口校で実施した。1学期保護者会の日(7/15)の3・4限目をまつりの時間とし、中学生だけでなく小学生と護者が参観した。当日は3部構成とし、体育館で全員で楽しむステージ企画、全校舎を使用してのゲームラリー(多くの縁日コーナー)、本年度初企画の笹飾りを実施した。笹飾りの願い事は、地域全戸に越前和紙の短冊を配布し、坂口公民館と連携して回収し、当日に坂口校の全児童生徒と参加した保護者で飾り付けた。翌日、中学生が笹を公民館玄関に設置し、地域に披露した。

#### ① 企画段階での活用

生徒各々のアイデアをタブレット端末に打ち込み、全体で共有して話し合いながら企画内容を厳選していった。

#### ② チラシづくりでの活用

小学生や保護者、地域向けのチラシをタブレット端末で作成した。文字やイラスト、写真のレイアウトを工夫して仕上げた。

#### ③ ステージ企画での活用

クイズやゲームの際、タブレット端末で事前に準備した画像や動画をスクリーンに投影した。

#### ④ 校内ウォークラリーゲーム

6名程度の異年齢のグループで、タブレット端末を持ち歩いて行った。端末でゲームのルールや得点表を作成し、ゲーム中も確認できるよう活用した。



地域向けのチラシ

### 【成果】

- ・企画から運営までほぼすべての活動でタブレット端末を活用したことで、学年を

こえて意見の交流や共有をスムーズに行うことができた。準備の段階で、考え方の相違により意見の対立等があったが、それらも話し合いでまとめることで克服しながら中学生の団結が深まり、達成感が感じられた。

- ・小中併設校の強みを活かし、9学年にまたがる異年齢集団で学び合う力が培われ、楽しい学校づくりに繋がった。
- ・笹飾りの願い事では、生徒たちは将来の夢を踏まえて記入することができた。
- ・タブレット端末を活用して数多くのゲームを皆で楽しむことができた。特にインスタコーナー(端末を活用していくつかの写真撮影スポットでの撮影)は好評で、さらに修正を加えて9月の武生第二中学校本校の文化祭での坂口分校企画でも実施した。

## (2) 坂口地区全戸配布の「Happy通信」の発行

前年度末に生徒が主体となって生徒会の委員会再編を行った結果、地域も学校もHappyになることを願って坂口校(武生二中坂口分校と坂口小)の情報を発信するHappy委員会が本年度新設された。毎月の委員会で記事を決定し、小4以上の児童生徒が執筆して毎月発行している。

### ① 取材と執筆での活用

取材では、生徒がタブレット端末で写真を撮影したり、メタモジでメモを取ったりするなどして活用している。

### ② 情報共有での活用

取材や締切日の連絡などを Teams にアップして情報を共有している。

### ③ 執筆と校正での活用

執筆は、記事1つにつきメタモジ1ページとしている。その後、委員長と副委員長がメタモジで校正した後、教員が最終校正し、公民館と連携して全戸に配布している。



## 【成果】

- ・タブレット端末を活用することで、時間的にも空間的にも効率よく他者と協働して新聞を作ることができた。
- ・タブレット端末に慣れ、何ができて何ができないのかも明確になり、デジタルシティズンシップの涵養が図られた。
- ・生徒が主体的に記事の企画やインタビュー等をして楽しむ姿が見られた。
- ・生徒が坂口校の毎月のアピールポイントや強みなどを発見する視点で記事を考えるようになった。
- ・地域からの声として、「近所の子どものことを知ることができる」「子ども目線の記事に癒される」「翌月号も楽しみ」と高評価をいただいた。
- ・4月、5月は作成に時間がかかったが、2学期からは手際よく進めることができ、次年度以降も持続可能な取り組みとなった。